

# 宝塚市議会報告

# 本気の力！市政を変える。VOL. 11

— 私たちのまちは、私たちでつくる。 —

〒665-0033 宝塚市伊子志 2 丁目 17-8-4F TEL & FAX: 0797-72-2130

## Topic

- ご挨拶
- 3 月議会報告 (代表質問)
- 宝塚市議会意見公開会発言者募集について
- メルマガのご案内
- いとう順一プロフィール
- いとう順一とつくる会通信

この報告書の発行費用は、後援会から捻出し、政務活動費は使用していません。



## 宝塚市議会議員 **いとう 順一** (新風宝塚改革の会)

### ご挨拶 (3 月議会報告)

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

3/26、3 月議会が 41 日間の日程を終え閉会しました。会派代表質問・常任委員会での議案審査・予算特別委員会を始め、様々な会議日程の中で、慌ただしく過ごしました。

可否が分かれた議案としては、26 年度一般会計予算の中の、自治会連合会への補助金を巡り、修正案が賛成多数で可決されました。

私は市民が主体的に行う自律的な活動に、行政は支援をしていくという方向性は間違えていないとの観点から、修正案に反対、原案に賛成いたしました。

もちろん、原資は税金なので、不公平があったり、公正さを欠いてはいけませんし、金額の妥当性などは十分吟味したうえで、補助を出していくべきであることは当然のことと思います。更に、今議会に総務常任委員会に付託された「宝塚市行政事務委託料に関する陳情」も含めて、この件は非常に難しい判断でありました。

これまでの私の一般質問などで、行政は市民自治に至る、大きなビジョン・道筋を早急に描くべきと繰り返し述べて参りました。

その中で、地域自治区の創設・地域一括助成金・地域担当職員の配置、また、積極的にまちづくりに関わっている人だけでなく、もっと広く多くの市民の皆様に関わって頂く方法等の具体的提案もさせて頂いております。

また、行政として市民自治の今後のビジョン・道筋を明確に打ち出さないと市民が混乱すると、これまで述べて参りましたが、案の定の結果になってしまっていることは非常に残念なことであります。

協働ということなら、宝塚市は 15 年以上も前から全国的に先進的事例として、まちづくり協議会を設置し、平成 14 年 4 月には、「まちづくり基本条例」「市民参加条例」を設置しています。その後市長が何人も交代し、具体的な市民自治の議論が深化しないまま、長い年月が過ぎましたが、そろそろ本気で具体的な市民自治の在り方を、まさに市民との協働の中で、策定して行かねばなりません。

このまちを良くしたいと、やる気をもってまちづくりに一生懸命関わって頂いている多くの市民の皆様が、方向性の違いで対立するようなことがあっては、お互いにボランティアで関わって頂いているのに非常に残念です。

しかし、様々な考え方のいる方々が協働してまちづくりを進めて行かねばならない現場の中で、排他的・独善的なやり方は、そぐわないと思いますので、民主的な合意形成の在り方を、行政も住民も、もちろん議会も学ぶ必要があるのではないかと思うところです。

その他、議会では、特別委員会としてスポーツ振興に関する調査特別委員会・公共施設の整備に関する調査特別委員会・待機児童解消に関する調査特別委員会の 3 つの特別委員会が開催されております。

私は、スポーツ振興に関する調査特別委員会に属しておりますが、一年かかって様々議論されたことが、報告書としてこの 3 月議会最終日に成果を見ました。近いうちに宝塚市議会のホームページにアップされますので、是非一度ご覧いただけたら幸いです。

また、議会改革検討委員会の中で、様々議論した結果として、先月政策研究会の仕組みができました。

議会は、議案審査として可否を行うだけでなく、会派ごとの意見の違いを乗り越えて、議会として政策を研究し、条例提出をして行くことが求められていますが、その方向性を具体化したのが、政策研究会です。

そして、第 1 回目の研究テーマとして、「宝塚歌劇を市民が身近に感じる政策の研究会」が設置され、本会議終了後第 1 回目の会議が持たれ、私はこの研究会の副会長になりました。

本年 6 月議会での条例案提出を目指して、結果が伴うよう頑張りたいと思います。

**ブログ随時更新中！ <http://jito.jp> (携帯でも閲覧できます)**

いとう順一の活動や考え方を、週 3 日～4 日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。